

# 特集

〈事例〉

## 魅力ある就業機会と会員活動のさらなる拡充を目指す

公益社団法人  
小金井市シルバー人材センター

(東京都)

小金井市SCでは、コロナ禍で職班や地域班によるボランティア活動の多くが中止となっていたが、令和4年度に活動を再開。また、センター独自のイベントも3年ぶりに開催し、市民と交流しながらセンターの仕事内容をアピールできた。会員に対して多種多様な就業機会を提供しているが、さらなる就業内容の拡充や新たな就業の開拓に向けて次々に施策を講じ、会員活動をサポートしている。

### 活発なボランティア活動

小金井市SCは、昭和五十一年に高齢者事業団として設立以来、会員に対し就業機会を提供するとともに、就業する職種ごとに結成する「職班」と、地域ごとに結成する「地域班」の会員組織によるボランティア活動を通じて地域社会にさまざまな形で貢献してきた。地域のニーズに対応した多様な仕事を受け、ボランティアでも地域貢献する魅力ある組織として拡大発展している。

コロナ禍のため、令和二・三年のボランティア活動は中止したが、令和元年度を振り返ると、職班では設立記念日にシルバークリーン

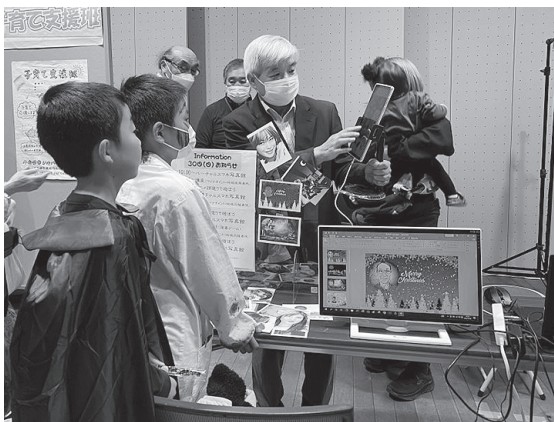
大作戦（二百十二人参加）を、地域班では定期的に各班で清掃ボランティア活動（街道沿いのごみ拾い／年間延べ七百八十一人参加）を行った。また、小金井公園大掃除大作戦への参加（五十六人参加）、市民対象の包丁研ぎサービス（十人参加）などを実施。会員が所属する各職班を中心とする、技能を生かしたボランティア活動（ふすま班、リビングサポート班、駐車場管理班、筆耕班、学習教室班、手工芸班、パソコン班、除草班、着付け業務会員）を行った。さらに、会員有志が高齢者施設を訪問して歌で交流したほか、使用済み切手の収集に協力する活動も展開した。



コロナ禍でボランティア活動の中止が続く中、令和4年度に学習教室班は小中学生向けの夏期講習を実施した

令和4年度は、コロナ禍以前とまではいかないが、ボランティア活動として、地域班による清掃、

令和四年十月二十九〜三十日、三年ぶりの開催となった「いきいきシルバーフェア」のイメージキャラクター「シルバークン」が来場者を出迎えた（写真上）。会場では入会相談を行ったほか、手工芸班写真中央やパソコン班（写真下）など職班もブースを出展した



「いきいきシルバーフェア」と同時開催した「会員作品展」では、会員18人の31作品を展示

学習教室班による小・中学生対象の夏期講習、筆耕班による市民体育祭での賞状名入れなどの活動を十月末日までに実施している。

## 「いきいきシルバーフェア」と「会員作品展」を同時開催

令和四年度は、三年ぶりにセンター独自のイベントを再開した。十月二十九〜三十日に、センター

事業をPRして仕事の受注と会員数の拡大を図ることを目的とした「いきいきシルバーフェア（以下、シルバーフェア）」と「会員作品展（以下、作品展）」を開催した。会場の宮地楽器ホール小ホールには、入会相談のほか、職班から手工芸班、リビングサポート班、パソコン班、福祉・家事援助班、子育て支援班がブースを出し、手

工芸品の販売、掃除の実演・講習、ゲームコーナーなど盛りだくさんの内容で、市民と交流しながらセンターの仕事内容をアピールした。シルバーフェアに参加した会員は約五十人。また、東京都シルバー人材センター連合である公益財団法人東京しごと財団が作成したシルバークン「シルバークン」も登

場し、来場した子どもたちの人気を集めていた。

同時開催の作品展は、会員の日ごろの成果を披露する場で、写真、絵画、書道、陶芸品、刺しゅう作品など会員十八人の三十一作品を展示した。

開催日はハロウィーンのイベントと重なったこともあり、家族連れが多く来場しにぎわった。来場



者は二日間で、シルバーフェアに七百三十二人、作品展に三百三十一人と合計で千人を超える盛況ぶりだった。

開催中、十人から入会相談を受けて、入会希望の声が聞かれた。

## 女性委員会の取り組み

小金井市SCでは、女性委員会による活動も活発に行っている。

女性委員会は、各職班から選任された十人の委員と二人の理事で構成している。女性会員拡大と就業や交流を通じて地域福祉の向上を目的として、平成七年に発足。市民・会員向けセミナーや健康講座の開催、会員交流などの活動を担っている。

### 〈健康講座〉

令和四年十一月十七日、『笑う門には健康来る』―笑顔は明日への活力、笑ってコロナを吹き飛ばそう―と題して、四人の落語家を招いて健康講座を開催。市報で参加者を募り、市民二十七人と会



小金井市SCは、女性委員会による活動が活発。写真上は、4人の落語家を招いた健康講座。写真下は、市の「さくら体操」。会員有志が講師となって体力増強を目指す活動を行っている



員二十一人が参加して落語を堪能した。参加者からは「出掛けることが少なくなり少し寂しく思っていたので、楽しい時間を過ごせました」「落語の面白さに加え、中央線の歴史等を演目に取り上げるなど趣向が良かった」「たくさん笑って健康になりたい」といった感想が聞かれた。

### 〈さくら体操〉

「さくら体操」は転倒予防と筋

会が中心になり、当番制のボランティアによる運営でセンター作業所内に会員限定の喫茶店を開いている。コーヒー一杯百円。気軽に立ち寄れる雰囲気、就業報告書の提出に訪れる会員の交流や情報交換の場となっている。

## 多様な就業機会を提供

魅力あるセンターづくりに不可欠な条件として、岡部壮二常務理事兼事務局長は、「会員が積極的に活動できる環境づくりと、多様な就業機会があること」を挙げた。

すでに同センターでは、さまざまな就業を会員に提供している。

以下は、その一例である（カッコ内は、令和三年度の就業本会員数）。

特徴的な就業として、センター設立とほぼ同時にスタートした英会話教室（七人）、昭和五十三年に開始した学習教室（十二人）など、長く続く市民向け教室事業がある。また、理容・美容の資格を持つ会員が外出できない市民のために始

### 〈茶房すまいる〉

月末・月初の三日間、女性委員

めた出張ヘアカット事業（四人）、公立小・中学校に教職員や生徒より先に行き、学校業務が円滑に進むようにする早朝学校管理（二十八人）、家事の困り事に対応する福祉・家事援助事業（六十一人）、市の委託事業で月二回発行の「市報こがねい」と年四回発行の「市議会だより」、選挙公報を配布する業務（二百二十九人）、市庁舎クリンサービス、見守りを兼ねた敬老会運営事業などもある。

さらに、令和四年度は就業内容の拡充や新たな就業の開拓に向けて、リーフレットを刷新した。小金井市は住宅都市の性格が強いため、「暮らしの中のお手伝い」をキヤッチフリーズに掲げて、家事援助、ふすま・障子・網戸の張り替え、子育て支援、リビングサポート（粗大ごみの搬出、電灯交換、簡易な修理など）の就業内容をイラストで紹介し、全戸に配布した。その後、就業依頼の問い合わせが増えている。

### イメージアップに向けて キャッチコピーを決める

令和四年度は、センターのイメージアップを図るため、キャッチコピーを作成した。

キャッチコピーは会員から募集。五十二点が集まり、全会員に投票を呼び掛けて選考した結果、川手成子さんの「いつまでも 笑顔と健康 地域の輪」が選ばれた。仲間や地域とのつながり、健康維持を兼ねて、楽しく笑顔で就業できたらという思いが込められている。投票結果は、センターの会報「こがねい」（令和四年十一月二十日発行）に掲載。今後はさまざまな機会を捉えて、センターからの発信に使用していく。

Rの武蔵小金井駅および東小金井駅前で、理事がティッシュを配布し、入会促進とセンターの広報活動をを行った。

### 高齢会員の就業が課題

「職班や地域班などの会員活動は、設立当初から活発で、代々、引き継いでいます。これからも会員が積極的に活動できるように、環境づくりに努めていきたい」と話した上で、岡部事務局長は現状の課題として次のことを挙げた。

会員数は、入会時の手続きの簡素化、会員募集チラシの全戸配布などの取り組みを実施したものの、減少傾向にある。企業が六十五歳までの定年延長や、七十歳までの継続雇用を推進する中、高齢者の働き方が多様化し、センターの入会者は七十歳代が中心になっている。会員の平均年齢は七十五歳となった。このことから、年齢の高い会員への就業機会の提供が重要な課題になっている。

「会員拡大と合わせて、魅力あるセンターに向けて、さらなる就業機会の拡大と、会員と就業のより良いマッチングに力を入れていきます」と岡部事務局長は締めくくった。

（増山美智子）

事業運営状況 (平成29年度～令和3年度)

年度	会員数			粗入会率	就業実人員 (延人員)	就業率	受注件数	契約金額	公民比
	男	女	計						
平成29	679	474	1,153	3.7	997 (138,626)	86.5	5,371	466,185	49.6/50.4
30	670	459	1,129	3.5	983 (136,312)	87.1	5,247	458,859	50.1/49.9
令和元	641	459	1,100	3.4	957 (139,475)	87.0	5,403	470,926	49.7/50.3
2	623	427	1,050	3.2	878 (116,577)	83.6	4,439	409,846	50.9/49.1
3	612	406	1,018	3.0	916 (122,315)	90.0	4,315	418,508	52.9/47.1

※平成30年度以降の受注件数、就業実人員、契約金額は請負・委任と労働者派遣事業を合計した数値  
 ※就業実人員は平成29年度まで請負・委任、平成30年度以降は請負・委任と労働者派遣事業が対象  
 ※就業実人員は令和2年度から労働者派遣事業の教育訓練受講を含む